

# マスコミに取材されるプレスリリース10箇条 ～伝わる取材依頼を書こう～

プレスリリース（取材依頼）を受ける側の新聞記者の視点から、効果的な広報について学びます。合わせてケーススタディも実施。受講者が持ち寄ったプレスリリースを教材にしながら、どうしたら報道につながる発信ができるのかを一緒に考えます。

- ✓ 報道する側が思わず取材したくなる情報発信のツボを学ぶ「広報講座」
- ✓ 実際に使用したプレスリリースから考える「ケーススタディ」

## 講座概要

日時：2018年7月30日(月)  
18:30～19:50「広報講座」  
20:00～21:00「ケーススタディ」

会場：仙台市市民活動サポートセンター  
研修室5

定員：各20名（先着順）

対象：市民活動団体に広報を担う立場の方。  
効果的に団体をPRできていない、  
団体の活動を上手に伝えたいなど  
広報・情報発信に悩んでいる  
市民活動団体・NPO法人  
※法人格の有無は問いません。

参加費：無料

申込み：裏面の申込用紙にご記入の上、  
サポートセンター1階受付または  
FAXにてお申込みください。  
電話・メールでのお申し込みは、裏面の  
項目をお知らせください。  
※お申込みの際、実際に使用した、あるいは  
出す予定のリリースがあれば、お寄せください。

## 講師紹介

河北新報社 防災・教育室  
大泉大介さん



河北新報社 防災・教育室 部次長。1971年、宮城県大崎市古川生まれ。立命館国際関係学部卒。1995年、河北新報入社。報道部、地方支局、ネット部門を経て2016年4月から現職。東日本大震災では宮城県南三陸町の津波被災地取材を担当。2012年夏から、大学生に取材と記事執筆のノウハウを伝え、被災地に関心を寄せる若者を育てる「記者と駆けるインターン」事業を企画、担当している。

仙台市市民活動サポートセンター

**FAX:022-268-4042**

## 「マスコミに取材されるプレスリリース10箇条」申込書

団体名
参加者名
電話番号
プレスリリース提出（下記にチェックをしてください） <input type="checkbox"/> 有（提出方法 <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 窓口） <input type="checkbox"/> 無
その他、事前に質問があればご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報につきましては、当センターが主催する事業のご案内以外には使用いたしません。

### ■案内図



- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でご来館の方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。
- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。  
【最寄バス停】電力ビル前、商工会議所前  
【地下鉄】広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

つながる  
つなげる  
サポセン

仙台市市民活動サポートセンター  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3  
Tel:022-212-3010 Fax:022-268-4042  
Mail:sendai@sapo-sen.jp  
担当：嶋村 舞草 山田